



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社インティメート・マージャー 上場取引所 東  
 コード番号 7072 URL <https://corp.intimatemerger.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 築島 亮次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 久田 康平 TEL 03 (5114) 6051  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	525	-	9	-	4	-	2	-
2019年9月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	0.98	0.80
2019年9月期第1四半期	-	-

(注) 2019年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	1,485	1,176	1,176	625	79.2
2019年9月期	968	625	625	-	64.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 1,176百万円 2019年9月期 625百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	-	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	-	-	-	-
2020年9月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,790	27.5	223	53.2	223	56.5	152	57.8	63.38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	2,869,100株	2019年9月期	2,400,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	一株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	2,639,666株	2019年9月期1Q	一株

(注) 2019年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定期的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社の主要領域であるインターネット広告市場におきましては、2018年のインターネット広告市場は前年比16.5%増の1兆7,589億円に達し、このうち運用型広告費は、前年比22.5%増の1兆1,518億円(株式会社電通「2018年日本の広告費」)と大きく伸長しております。業種業界を問わずビッグデータの活用が重要視されている一方で、国内ではデータ活用における個人情報・プライバシー保護に対する意識が高まりつつある状況です。

このような環境の中、当社のデータマネジメントプラットフォーム(DMP)事業につきましては、データビジネスにおけるプライバシー保護に関する体制整備やセミナーの実施に注力をしながら、引き続きオーディエンスデータの収集力及び分析力の強化を行い、IM-DMPを用いたオンラインマーケティングソリューションの拡販に努めてまいりました。

新事業領域に関しては、Sales Tech分野の「Select DMP」が、働き方改革の推進による業務効率化意識の高まりにより導入企業数が順調に増加しました。また、EC市場の伸長や、広告に対する費用対効果をより重視する広告主の増加により、アフィリエイト広告が浸透してきており、2019年1月にリリースした成果報酬型ディスプレイ広告運用サービス「Performance DMP」の利用社数についても大きく伸長しております。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高525,543千円、営業利益9,083千円、経常利益4,033千円、四半期純利益2,597千円となりました。

なお、当社は、DMP事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は1,485,681千円となり、前事業年度末に比べ517,189千円増加いたしました。

流動資産は1,424,308千円となり、前事業年度末に比べ515,199千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことに由来するものであります。固定資産は61,372千円となり、前事業年度末に比べ1,990千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が増加したことに由来するものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は309,054千円となり、前事業年度末に比べ33,757千円減少いたしました。

流動負債は304,334千円となり、前事業年度末に比べ33,757千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が増加したことによるものであります。固定負債は4,720千円となり、前事業年度末と変動はありません。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,176,627千円となり、前事業年度末に比べ550,946千円増加いたしました。これは主に当社株式の東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う有償一般募集増資や第三者割当増資等により、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は79.2%（前事業年度末は64.6%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、2020年9月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	584,847	1,059,175
売掛金	314,474	334,232
仕掛品	1,038	9,812
貯蔵品	—	3,845
その他	8,748	17,243
流動資産合計	909,109	1,424,308
固定資産		
有形固定資産	3,489	3,081
無形固定資産	1,932	1,805
投資その他の資産	53,960	56,485
固定資産合計	59,382	61,372
資産合計	968,491	1,485,681
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	198,788	213,151
未払法人税等	44,463	4,392
賞与引当金	20,880	14,610
その他	73,959	72,180
流動負債合計	338,091	304,334
固定負債		
資産除去債務	4,720	4,720
固定負債合計	4,720	4,720
負債合計	342,811	309,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,000	424,174
資本剰余金	130,000	404,174
利益剰余金	345,680	348,278
株主資本合計	625,680	1,176,627
純資産合計	625,680	1,176,627
負債純資産合計	968,491	1,485,681

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	525,543
売上原価	354,866
売上総利益	170,677
販売費及び一般管理費	161,593
営業利益	9,083
営業外費用	
株式交付費	3,113
株式公開費用	1,506
その他	430
営業外費用合計	5,050
経常利益	4,033
税引前四半期純利益	4,033
法人税等	1,435
四半期純利益	2,597

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2019年10月23日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行260,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ227,240千円増加しております。

また、2019年11月20日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株発行39,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ34,086千円増加しております。

この結果、新株予約権の行使による増加分を含めて、当第1四半期会計期間末において資本金は424,174千円、資本準備金は404,174千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期会計期間より事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

当社は、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。